
「LLM(Large Language Model)とVLM(Vision and Language Model)

を用いた頭部MRAにおける自動所見抽出」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの頭部MRI画像を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究IRBの承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年9月1日～2024年8月31日に埼玉医科大学国際医療センターで頭部MRI検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

埼玉医科大学国際医療センター画像診断科では、頭部MRA所見や頭部MRA画像による脳動脈の診断分類に関する診断支援AIの開発を目指しています。開発の第一段階として、LLM(人間のよう自然な受け答えや文章の作成ができる人工知能モデル)を用いた情報抽出の精度の検証と、画像をペアとしたVLM(画像と言語の両方を理解し、関連づけることができる人工知能モデル)の作成を目標としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2029年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1カ月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

埼玉医科大学国際医療センターで撮影された頭部MRI画像

この研究で得られた患者さんの情報は、画像診断科において、研究責任者である浅見志歩が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

2023年9月1日～2024年8月31日に埼玉医科大学国際医療センターで撮影された頭部MRI画像を使用します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 浅見 志歩（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 馬場 康貴（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：LLM(Large Language Model)とVLM(Vision and Language Model)を用いた頭部MRAにおける自動所見抽出

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 浅見 志歩